



10月24日(木)

伯耆町に新工場進出

大山ハムファクトリー(株)大山工場の

新設にかかる協定書調印式

ハ

ムやベーコンなどを製造する大山ハムファクトリー(株)の新社代表取締役社長 佐々木雄大氏、大山ハム株式会社代表取締役社長・大山ハムファクトリー株式会社代表取締役社長 村上隆氏、平井伸治馬取県知事、森安町長がそれぞれ協定書に調印しました。

新工場は、食肉加工品を製造する大山ハムファクトリーが新設する工場です。令和3年4月の操業開始を目指し、伯耆町須村の植田正治写真美術館横に建設され、併設する直売所では、自社製品の販売や生産体験も可能になるなど、観光客の誘致や地元雇用の創出が期待されます。

新工場は、食肉加工品を製造する大山ハムファクトリーが新設する工場です。令和3年4月の操業開始を目指し、伯耆町須村の植田正治写真美術館横に建設され、併設する直売所では、自社製品の販売や生産体験も可能になるなど、観光客の誘致や地元雇用の創出が期待されます。



▲調印後、握手を交わす町長ら

10月26日(土)

たくましい競走馬に感動 大山ヒルズ見学会

伯

耆町真野にある競走馬トレーニング施設「大山ヒルズ」

で10月26日(土)、見学会が開催されました。

大山ヒルズは、競走馬の生産から育成までを一貫して行う(株)ノースヒルズグループのトレーニング施設で、JRAでの出走を目的に競走馬の育成・調教と休養馬の調教を行う施設です。

一般公開されていない施設のため、見学会には毎年たくさんの方から応募があり、抽選により選ばれた参加者は、馬見せや厩舎見学で普段は間近に見ることのできない競走馬のたくましい姿に感動している様子でした。また大山ヒルズからのプレゼント抽選会も行われ、馬と過ごす見学会を大いに楽しみました。



▲調教の様子



▲たくましい姿に見入る参加者

10月27日(日)

秋の味覚が並ぶお祭 森と清流の里ふれあい祭

毎

年恒例のイベント「森と清流の里ふれあい祭」が10月27日(日)、大山ガーデンプレイスで開催されました。

地元生産者が自慢の野菜や加工品などを販売する特産品ブース、焼きそばやたこ焼きなどのおいしい食事を販売するグルメブース、エサやりが体験できるヤギのふれあいコーナー、恒例の景品抽選会など、盛りだくさんの内容で、訪れた人は秋のお祭りを楽しんでいました。

また、チャリティ餅つき大会、チャリティふれあい汁で寄せられた募金70,038円は、伯耆町社会福祉協議会へ全額寄付され、年末に実施する独居高齢者おせち配布事業費の一部として活用されます。



▲今年もチャリティありがとうございます



▲じっくりと品定め